

地方公共団体名	広島県安芸高田市
所属部局	市民部環境政策課
現状・実施したい脱炭素施策	地域脱炭素の取組を行政、市民、企業がそれぞれの強みを生かし、継続的に連携できる形の実現を考えています。そのために必要な3者（行政、市民、企業）が参画して実現させる具体的な仕組みがないので「GXのグランドデザイン」をこれから構築したい。具体的に実現したいことは、行政部門として、公共施設のZEH型建築・省エネルギー化改修・更新、森林資源の有効活用と適正保全、BEV・HEV・PHEV・FCEV対応の環境インフラ整備、補助・ポイント制度の制定、市民・企業へのナッジ推進を想定している。 また、市民部門では、自治体が主導する脱炭素への取組を市民一人ひとりが自らのこととして受け止め、行動変容を前向きに享受し、日々の暮らしの中で脱炭素への選択ができるリテラシーを身につけ、地域全体でその価値観を共有する地域社会の実現。企業部門では、Scope1・2・3の算定・削減に向けて自治体と連携を図り、自社の直接・間接排出抑制のための設備投資に加え、市民同様にサプライチェーン外での温室効果ガス排出抑制にも取り組む。あわせて、新エネルギー事業者の進出、既存事業者によるJ-クレジットの流通・活用促進など新たな事業展開を後押しし、脱炭素に挑戦する企業がこの町で活躍できる環境を築いていく。
脱炭素施策の実施によって地域にもたらしたい脱炭素以外のメリット・地域裨益・ありたい未来（ビジョン）	● コスト削減、エネルギー代金削減 ● 地域の魅力の向上・地域課題解決 ○ 健康・福祉等への貢献 ○ 防災・レジリエンス向上 ● 地域経済の活性化・循環型共生圏づくり ○ その他
上記内容の概要	1. 新設計画をしている、中学校、消防署、改修・更新計画をしている観光施設、デマンドバスの省エネ対策によるコスト削減している。 2. 補助・ポイント制度を策定する事でエコ活動・サービス・商品への促進が高まり地域経済の活性化とともに脱炭素の取組を後押しする事を想定している。 3. 行政・市民・企業が1つのスキームで取組むことがないため、この取組の点において浮き上がる課題を地域での課題として共通認識し解決していく取組自体が地域の魅力を引き出すことにつながると考えている。
マッチングを望む分野	高 ←————— 優先度 —————→ 低 1 ZEB・ZEH・建築物の省エネ 2 交通分野の脱炭素（EV等） 3 カーボンオフセット・J-クレジット 4 5 森林管理・活用・生物多様性 木質バイオマス発電・熱利用 その他 : 裨益型マイクログリッド
マッチング企業と取り組みたい事業	以下の5分野を中心に、具体的な事業化を考えています。①ZEB・ZEHや既存建築物の省エネ改修に関する技術導入・普及促進、②森林管理と木材利用の高度化、生物多様性に配慮した森林保全活動、③地域内で創出したCO2削減量をJ-クレジット化し企業間で活用する仕組みづくり、④EV導入促進や充電インフラ整備等による交通分野の脱炭素化、⑤地域の未利用材を活用した木質バイオマス発電・熱供給システムの構築。これらを組み合わせ、地域資源循環型のエネルギーシステムと産業振興を同時に実現する事業モデルを企業と共に検討していきたいと考えています。